

作成・改訂 2018年11月22日

安全データシート

1. 製品及び会社情報

製品の名称	リペアクリート AR
会社名	美州興産株式会社
住所	名古屋市中村区名駅南1-17-28
電話番号	052-551-9400
緊急連絡電話番号	052-771-6141 (技術部)

2. 危険有害性の要約

GHS分類

物理化学的危険性		該当しない
人健康有害性	生殖細胞変異原性	区分2
	発がん性	区分1A
	生殖毒性	区分1B
	特定標的臓器・全身毒性 (反復ばく露)	区分1(呼吸器、免疫系、腎臓)
環境有害性	水生環境急性有害性	分類できない
	水生環境慢性有害性	分類できない
	上記で記載が無いものは、分類できない、分類対象外	

ラベル要素

絵表示又はシンボル:



注意喚起語: 危険

危険有害情報 遺伝性疾患のおそれの疑い
発がんのおそれ
生殖能または胎児への悪影響のおそれ
長期又は反復ばく露による臓器の障害(呼吸器、免疫系、腎臓)

注意書き:

【安全対策】
使用前に取扱説明書を入手すること。
すべての安全注意を読み理解するまで取扱わないこと。
粉塵/フューム/ガス/ミスト/蒸気/スプレーの吸入を避けること。
保護手袋/保護眼鏡/保護マスクを着用すること。
環境に放出しないように注意して取り扱うこと。
この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。
取扱い後はよく手を洗うこと。

【救急処置】
ばく露又はその懸念がある場合、医師の手当、診断を受けること。
気分が悪い時は、医師の手当て、診断を受けること。
吸入した場合は、被災者を空気の新鮮な場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させ、医師の診断/手当てを受けさせること。
飲み込んだ場合は、吐かせず、口をすすぎ、医師の診断/手当てを受けること。
眼に入った場合は、水で数分間注意深く洗い、医師の診断/手当てを受けること。
皮膚または髪に付着した時は多量の水と石鹸で洗い、衣類が汚染された時は直ちに全てを取り除くこと。
皮膚刺激が生じたときは、医師の診断/手当てを受けること。

【保管】

容器を密閉し、直射日光を避け、換気の良い場所で、施錠して保管すること。
湿気、水濡れ厳禁。

【廃棄】

内容物、容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。

国・地域情報：

GHS分類に該当しない他の危険性有害性：

水と接触すると水酸化カルシウムを生じてアルカリ性（pH11～13）を呈し、目、鼻、皮膚に対し刺激性があり、目の角膜、鼻の内部組織、皮膚に炎症を起す可能性がある。飲み込むと、喉を刺激する。

粉塵を長期間にわたり多量に吸入した場合「じん肺」になる恐れがある。

3. 組成、成分情報

単一製品・混合物の区別：混合物

化学名：特殊粉体

成分及び含有量（危険有害性物質を対象）

成分名	含有量(%)	CAS No	化審法	安衛法
フライアッシュ	15～25	68131-74-8	—	—
硅砂	25～35	14808-60-7	1-548	165-2
四ほう酸ナトリウム+水和物	0.6	1303-96-4	1-69	544

4. 応急措置

- 目に入った場合：こすらないで直ちに流水で十分に洗眼する。
異物感が残る時には速やかに眼科医の診断を受ける。
コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗淨を続けること。
- 皮膚に付着した場合：流水で十分に洗い流す。
痛みや炎症が認められたときは速やかに医師の手当てを受ける。
- 吸入した場合：多量の場合は直ちに空気の新鮮な場所へ移動させ、呼吸に異常がある場合は直ちに医師の診断を受ける。
嘔吐が自然に生じたときは、気道への吸入が起きないように頭を横向きにする。
- 飲み込んだ場合：きれいな水で口の中をよく洗う。多量の場合は医師の診断を受ける。
- 応急措置をする者の保護： 救急者は、保護具を着用する（曝露防止措置の注意事項を参照）。
医師に対する特別注意事項：直ちに医師の診断を受け、この容器のラベルに記載された注意事項又は SDS を示す。
- 予想される急性症状及び遅発性症状：吸入 咳
眼 発赤

5. 火災時の措置

- 消火剤：全ての消化剤が使用できる。
消火方法：不燃物。包装が燃えた場合は一般的な消火方法でよい。
消化作業の際は、適切な空気呼吸器を含め、適切な化学用保護衣を着用する。

6. 漏出時の措置

- 漏出時には、出来るだけ粉体の状態で回収する。
人体に対する注意事項：回収作業には、手袋、長靴、保護メガネ、防塵マスク等の保護具を着用する。
環境に対する注意事項：粉塵が飛散しないようにする。
濃厚な洗淨水は中和、希釈処理等により、河川等に直接流出しないように対策を取る。
- 回収、中和除去方法：漏出、飛散した場合には、掃除機、スコップ、ほうき等により、出来るだけ粉体の状態で回収し、廃棄まで容器で保管する。やむをえず、床面

に残ったものは水で洗浄する。洗浄水は回収し、中和処理等により適切に処理する。
回収物や回収した洗浄水は 13.廃棄上の注意に従い、廃棄または排水する。

7. 取扱い及び保管上の注意

- 取扱い 技術的対策 : 『8.ばく露防止及び保護措置』に記載の設備対策を行い、保護具を着用する。
- 局所排気・全体換気 : 『8.ばく露防止及び保護措置』に記載の局所排気、全体換気を行う。
- 安全取扱い注意事項 : 使用前に使用説明書を入手すること。
すべての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
皮膚と接触しないこと。
粉塵、ヒュームを吸入しないこと。
眼との接触を避けること。
取り扱い後は手、顔等をよく洗いうがいをする。
飲み込みを避けること。
袋の場合、破袋などにつながるような粗暴な取扱いをしない。
アルカリ性なので酸性(塩酸、硫酸、硝酸等)の製品との接触を避ける。
- 保管 技術的対策 : 特別に技術的対策は必要としない。
- 保管条件 : 湿気厳禁。雨等の当たらない屋内倉庫に保管する。
子供の手の届かないように保管する。
容器を密閉して保管すること。
- 容器包装材料 : 防湿のため密閉可能な袋または容器。

8. 暴露防止及び保護措置

- 管理濃度 : 0.06mg/m³ (労働安全衛生法・作業環境評価基準)
- 許容濃度 : 日本産業衛生学会 第2種粉塵 (鉱物性粉塵)
吸入性粉塵 1mg/m³
総粉塵 4mg/m³
ACGIH 総粉塵 10mg/m³
- 設備対策 : 粉塵則に従い局部排気装置、除塵器等を設置する。
- 呼吸器の保護具 : 状況に応じて防塵マスクを着用する。
- 手の保護具 : 保護手袋を着用する。
- 目の保護具 : 状況に応じて防塵メガネを着用する。
- 皮膚及び身体の保護具 : 皮膚の露出しない長袖作業衣を着用する。

9. 物理的及び化学的性質

- 外観等 : 粉末状
- 融点 : データなし
- 比重 : 2.0~3.0
- 引火点 : 不燃性の固体
- 発火点 : 不燃性の固体
- 溶解性 : 水に難溶

10. 安定性及び反応性

- 安定性・反応性 : 通常の状態では安定である。
- 危険有害反応危険性 : 水と反応して固化する。
- 避けるべき条件 : 粉塵の拡散。
- 危険有害な分解生成物 : 情報なし

1 1. 有害性情報

生殖細胞変異原性

: In vitro では、哺乳類培養細胞の遺伝子突然変異試験で陽性、陰性の結果、哺乳類培養細胞の小核試験で陽性、陰性の結果、染色体異常試験、姉妹染色分体交換試験で陰性である (SIDS (2013)、CICAD 24 (2000)、DFGOT vol. 14 (2000)、IARC 68 (1997))。(区分 2)。(結晶質－石英)。

発がん性

: 人間に対して発がん性があると判断できる。
IARC68 は 1、NTP R○C は K、産衛学会勧告は 1 に分類(区分 1A)。
(結晶質－石英)

生殖毒性

: 生殖能または胎児への悪影響のおそれ (区分 1B) (フライアッシュ)
雄ラットに本物質を 1,000 又は 2,000 ppm で最長 60 日間混餌投与後に無処置雌と交配させ雄の授精能を検討した試験において、1,000 ppm (50 mg ホウ素/kg/day) では回復性のある授精能力の低下がみられたが、2,000 ppm (100 mg ホウ素/kg/day) では授精能力は 12 週間の観察期間を通して完全消失した (NITE 初期リスク評価書 (2008)、ATSDR (2010))。また、雌雄ラットに本物質を最大 1,170 ppm (58.5 mg ホウ素/kg/day) で混餌投与した生殖毒性試験において、1,170 ppm 群では精巣萎縮及び排卵数の減少、及び完全不妊が認められた。さらに、1,170 ppm 投与群の雌を対照群の雄と交配した場合にも不妊であった (NITE 初期リスク評価書 (2008)、ATSDR (2010))。以上、実験動物では本物質は一般毒性が明確に示されない用量で雌雄の生殖能力を低下させる。よって、区分 1B とした。(ほう酸ナトリウム)

特定標的臓器毒性 (反復暴露)

: 呼吸器系、免疫系、腎臓に影響を及ぼす(区分 1)。(結晶質－石英)

その他

: 製品としての安全性試験は行っていない。

1 2. 環境影響情報

接触水はアルカリ性 (pH12~13) を呈するから、環境に影響を及ぼさないように注意する。

生体蓄積性(水性環境有害性(慢性)): 分類できない

生体蓄積性(水性環境有害性(急性)): 分類できない

1 3. 廃棄上の注意

固化後、廃棄物の処理及び清掃に関する法律に基づき廃棄する。

洗浄水などの排水は、水質汚濁防止法等の関連諸法令に適合するように十分留意しなければならない。

処理等を外部の業者に委託する場合は、都道府県知事等の許可を受けた産業廃棄物処理業者に産業廃棄物管理表 (マニフェスト) を交付して委託し、関係法令を遵守して適正に処理する。

1 4. 輸送上の注意

国連分類	: 非該当
国連番号	: 非該当
容器等級	: 非該当
特定の安全対策及び条件	: 保護具、消火器を携帯する。 必要であれば、イエローカードを携帯する。 梱包や袋が破れないように丁寧に取扱う。 荷崩れ、湿気、水濡れを防止する。
海上輸送	: 法令の基準に従い積載、運送する。
航空輸送	: 法令の基準に従い積載、運送する。

15. 適用法令

- 労働安全衛生法 : 粉塵災害防止規則
 名称等を表示すべき危険物及び有害物(法第 57 条、施行令第 18 条)
 名称等を通知すべき危険物及び有害物(法第 57 条の 2、施行令第 18 条の 2
 別表第 9)
 政令番号 第 165-2 (石英)
 第 544(ほう酸ナトリウム+水和物)
- P R T R 法 : 該当 政令番号 1-405 (ほう素化合物)
- じん肺法 : 第 2 条施行規則第 2 条別表 粉じん作業
- 消防法 : 非該当
- 船舶安全法 : 非該当
- 土壤汚染対策法 : 第 2 種特定有害物質 (政令第 1 条第 24 号)
 「ほう素及びその化合物」 [溶出量基準値] 1mg/L(B)
 [含有量基準値] 4000mg/kg(B)
- 大気汚染防止法 : 有害大気汚染物質「ほう素化合物」 (中環審第 9 次答申の 221)

16. その他の情報

- 参 考 資 料 : 安全データシートの作成指針 (日本化学工業協会)
 原料メーカーの安全データシート

記載内容は現時点で入手できる資料、情報、データに基づいて作成しており、新しい知見により改訂されることがあります。記載内容は情報提供であって、保証するものではありません。また、通常の手配を対象にしたものですので、特別な手配をする場合には、用途、用法に適した安全対策を実施の上ご使用願います。